

以下、本文.....

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は担当者にご連絡ください。なお、その申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。

「肝癌における予後予測因子の検討」に関する研究

1. 研究の対象

1998年4月1日から2022年11月14日までの間に、当院の消化器外科で肝癌（原発性肝癌、転移性肝癌）についての治療を受けられた方です。

2. 研究目的・方法

目的：下記の試料・診療情報等を利用し、肝癌の予後について解明することを目的とした研究を実施するため、当院において肝癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに治療経過中のデータを解析し、患者さんの治療や治療経過の実態の把握、予後に寄与する因子の検討を行います。

方法：（情報を利用する場合）この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 診療情報等：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像、病理組織）等
- ・ 試料：なし

4. 情報の提供先・提供方法

この研究は、院外に情報提供することはありません。

5. あなたの人権・プライバシーの保護について

あなたから提供された診療情報などのこの臨床研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。また、この臨床研究のデータや試料を別の目的の研究に二次的に利用する場合があります。その際は新たに研究計画書を作成し、別途臨床研究審査委員会の承認を受けて実施します。その場合もあなた個人を識別できるような情報が漏れることはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5454）

研究責任者 消化器外科 永 滋教

問い合わせ担当者 消化器外科 永 滋教

-----以上